

令和5年度シラバス (芸術・音楽探究)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制 午前部	単位数 2	年次 3年次以上	必履修・選択 選択
------------	----------	-------------	--------------

準教科書 音楽ⅡTutti ⁺ (教育出版)	学習書・他教材 なし
--------------------------------------	---------------

学習目標 音楽の構造を理解するとともに、多様な音楽表現を行う。また創作する過程で音楽のさまざまな要素について知識を深め、社会に出てからも音楽を愛好する心情を育てる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
歌唱 楽典・器楽 鑑賞 (35)	<p><歌唱> 課題曲（日本語の歌）から1曲を選択。歌詞の内容と曲の構成を理解した上で表現の工夫をはかる。</p> <p><器楽> コードの構成について理解する。旋律にふさわしいコードの選択を考えながら演奏する。</p> <p><鑑賞> 日本の伝統音楽や世界の民族音楽について、特徴や文化的背景を理解する。</p>	<p>実技テスト <歌唱>課題から1曲</p> <p><器楽> コード伴奏1曲</p> <p>その他 ワークシートの提出</p>
歌唱 器楽 創作・鑑賞 (35)	<p><歌唱> 日本歌曲・外国語の歌曲・舞台音楽などジャンルを広げ、各自で選曲した歌曲を表現の工夫をしながら演奏する。</p> <p><器楽> 和楽器を含めて楽器選択・選曲し、表現の工夫をしながら演奏する。</p> <p><アンサンブル> アンサンブルの形態を選択し、他者との調和を意識して演奏する。</p> <p><創作> 旋律にコードアレンジを加え、オルゴールを制作する。</p>	<p>実技テスト <歌唱>独唱1曲</p> <p><器楽>独奏1曲</p> <p><合奏又は合唱1曲></p> <p><創作>1曲 その他 ワークシートの提出</p>

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
音楽への関心・意欲・態度 授業に意欲的、積極的に取り組み、課題の内容が十分である。	音楽表現の創意工夫 発声、奏法の理解、技能の修得、さらに自分なりの表現を工夫している。	音楽表現の技法 コードの仕組みを正しく理解し、さらに伴奏や表現活動に生かしている。	鑑賞の能力 日本音楽について学び、鑑賞、和楽器の演奏を行い、理解を深め自身の表現活動に生かしている。
実技テストとワークシートの提出。目標を自分で設定し、それに向けての技術の向上のために意欲的、積極的に授業に取り組む。			

授業の進め方、課題・提出物など 教科書を併用しながら、様々なジャンルの楽曲を扱う。演奏技術の向上を目指して実技課題に取り組み、ワークシートは必ず提出すること。
--

担当者からのメッセージ 音楽Ⅰを履修し、音楽の仕組みや表現を深めたいと思う人たちに学んでもらいたいと思います。音楽活動を楽しむための知識・技術が習得できるよう、主体的に取り組んで下さい。
--

